



当サイトはこちらからご覧になれます。

## ★文学論

— 作者は作品の「正解」を知らない…? —

文学論は評論の重要テーマの一つです。しかし、日本人の大半が日本の文学について知らない事態が起きています。「夏目漱石とか聞いたことあるけど、なんだっけ?」という人が大半でしょう。そのため、文学論が出題されると厳しくなる受験生が後を絶ちません。しっかりと基礎をおさえましょう。

文学とは、小説以外にも、**神話**や伝説などの**叙事詩**、作者の感情を表現した**叙情詩**なども含まれます。小説や随筆・評論などは**散文**とも言い、詩などは**韻文**とも言われます。

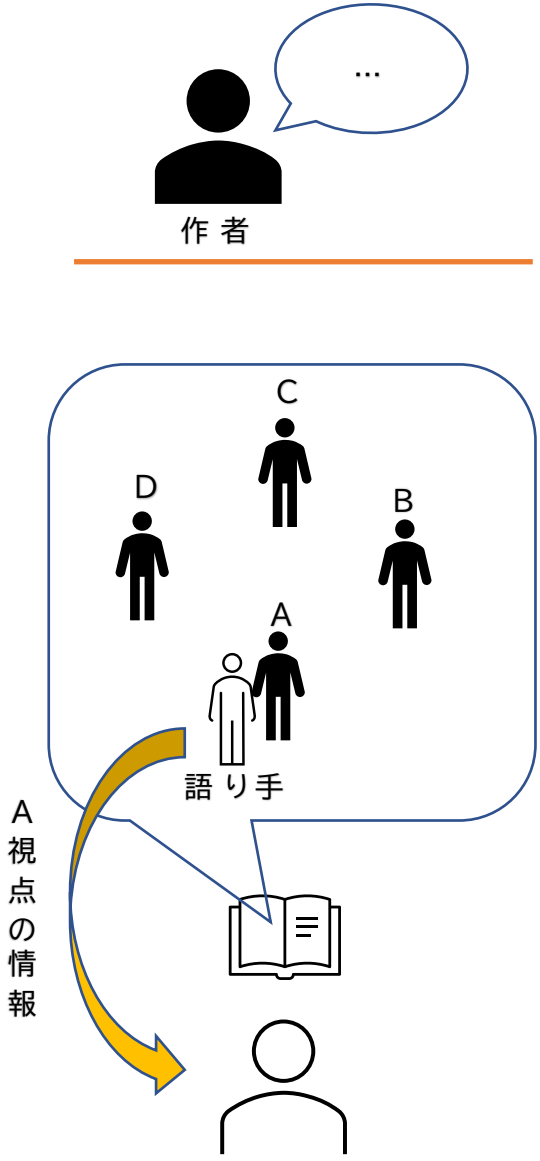
さて、近代を境目に文学、特に小説は大きな変化を見せます。まず、**言文一致運動**です。近代（明治時代）は、書き言葉（**文語**）と話し言葉（**口語**）の間にあまりにも大きな隔たりがありました。何とか小説に口語を取り入れようと作家たちが**苦心**したのでした。

### ◎ 評論 キーワード

- ・ **神話**…神や英雄が世界の創造をする話。根拠がない話の比喩としても使われる。
- ・ **叙事詩**…主に古代に作られた、出来事を記述した詩。
- ・ **叙情詩**…近代詩に多く見られる、作者の感情を表現した詩。
- ・ **散文**…小説などの通常の文章。対義語は「**韻文**」。
- ・ **言文一致運動**…小説に話し言葉を適用しようとする運動。
- ・ **文語**…書かれた言葉。対義語は「**口語**」。
- ・ **苦心**…あれこれ心を使って苦労すること。

近代までの物語は、主人公が**特異的**な力を持っているなど**虚構**の要素が強かったのですが、近代に入ると、主人公が平凡な一般人の小説が多く登場します。もちろんこれも虚構ではありますが、ややリアルに近づきました。さらに大正時代あたりになると、作者自身が主人公である「**私小説**」というものが登場します。これは日本文学の特徴で、小説をよりリアルに近づけようとするものでした。こうした現実志向を**リアリズム**や**自然主義**と言います。

小説には「**語り手**」という存在がいます。語り手は、作者のようにみえて作者ではなく、登場人物のようにみえて登場人物ではない不思議な存在です。語り手は、様々な登場人物にとりついて、その人の視点から物語ります。たまに、語り手が読者に嘘の情報を伝えて読者を混乱させる小説もあります。



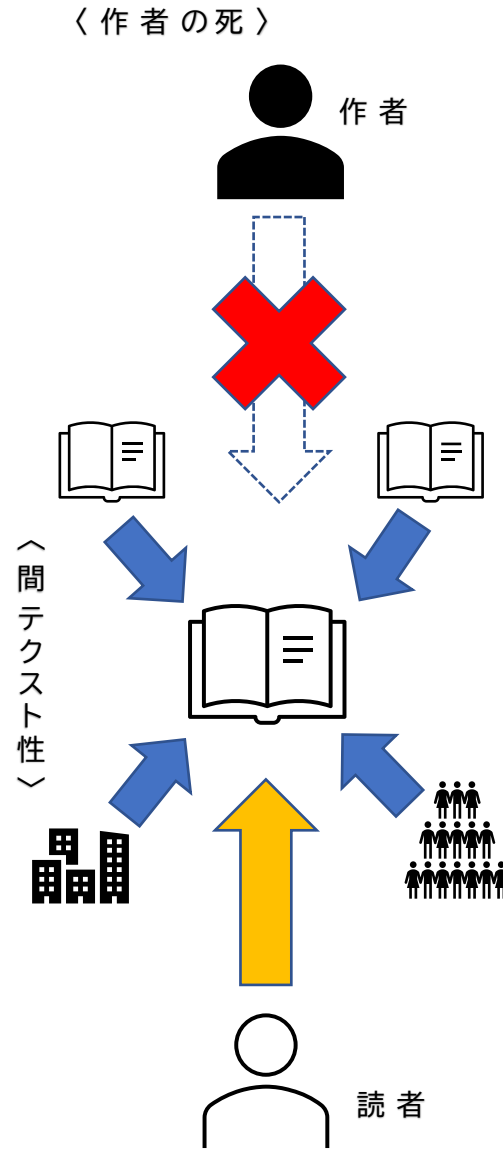
◎ 評論 キーワード

- ・ **特異的** .. 他の状態ではみられないこと。
- ・ **虚構** .. 実際にはない、作り上げたもの。フィクション。
- ・ **私小説** .. 日本文学独特の小説の型。作者自身が主人公とされる。
- ・ **リアリズム** .. 現実主義。
- ・ **自然主義** .. 見たままありのままを写し取る態度。
- ・ **語り手** .. 物語を物語る存在。ナレーター。

小説は作者が書いているわけで、作者が小説の「正解」を知っていると思えますよね。しかし、作者は本当に「正解」を知っているのでしょうか？

ロラン・バルトという人は「**作者の死**」を提唱しました。「作者の死」とは、作者の**権威**が無くなったことを意味します。読書における小説は、読者たちが個人の**感性**に基づいて読む**テキスト**であり、正解を当てるテストではありません。すると、読者によって**解釈**が分かります。その解釈の中から、作者ですら思いもよらなかった新たな読み方が発見されたりするものです。

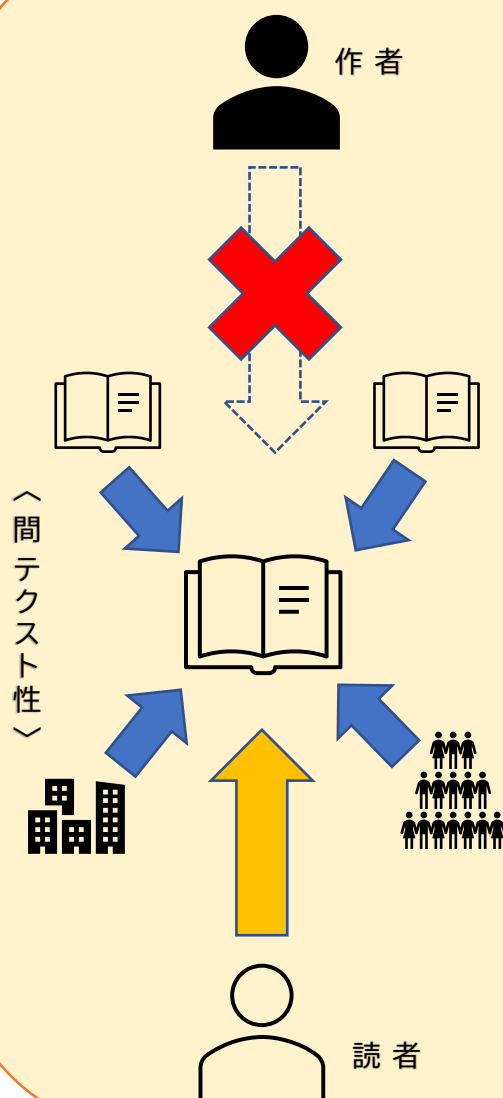
また、作品自体が、他の作品や社会背景（**コンテキスト**）に依存していてもいいです。これを**間テキスト性**といいます。一人の作者が作品を**統括**することは不可能なのです。



## ◎ 評論 キーワード

- ・ **作者の死**… 作者の意図を重視する見方を変えた、バルトの論文。
- ・ **権威**… 優れたものとして他人を威圧して自分に従わせる威力。
- ・ **感性**… 様々な物を見たり聞いたりしたときの心の動き。
- ・ **テキスト**… 書かれたもの。
- ・ **解釈**… 物事の意味を理解すること。
- ・ **コンテキスト**… 文脈・背景。
- ・ **間テキスト性**… ある作品が他の作品や社会背景の影響下にあること。
- ・ **統括**… 別々のものを一つにまとめること。

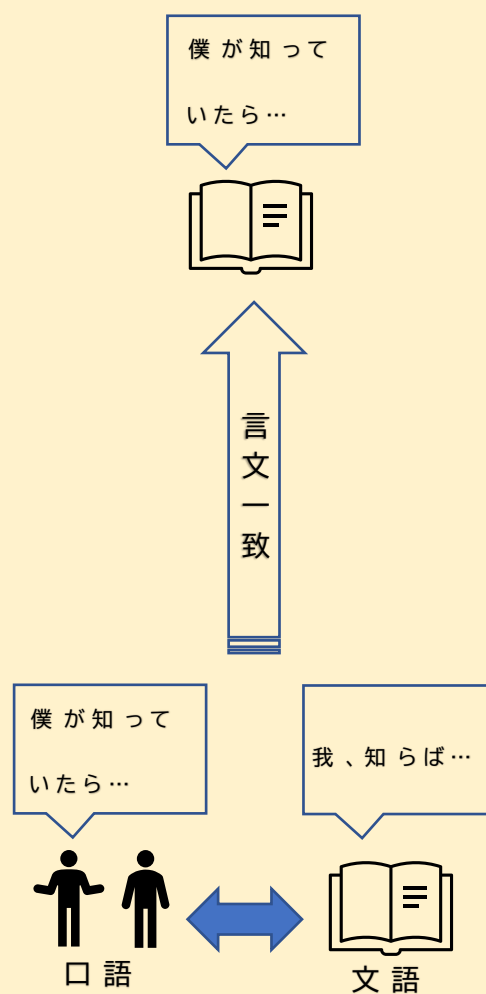
〈作者の死〉



● 作者は作品の「正解」を知る存在ではない！



● 「私小説」という日本特有の文学作品が誕生！



● 近代小説は言文一致が課題だった！